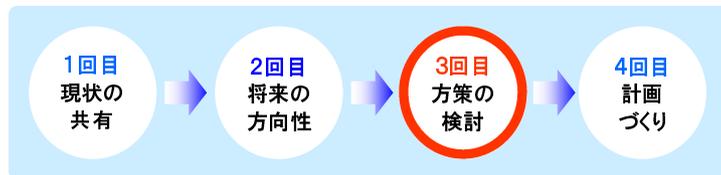


第3回目（方策の検討）



【概要】

「朝倉台の将来像の実現に向けてすべきこと」について話し合いを行いました。

議論を促すための手法として、重要度・緊急度マトリクス(四象限)(27ページ参照)、ブレインストーミング、親和図法を用いました。

3回目「プログラムシート」

「どうなる？どうする？朝倉台」第3回 プログラムシート

<狙い／成果>

朝倉台に関わる様々な団体の関係者が、朝倉台の将来像に向かって必要な方策を考え、共有できるようにしたい。

<対象者／人数>

朝倉台に関係する団体の代表者など／約50人

<時間／場所>

12月12日(日)9時～12時 畿央大学附属幼稚園

	時間	狙い／目標	活動内容／問い	場の設定
1	09:00 (10分)	導入／本日の目標と内容を理解してもらう	・自治会長あいさつ ・本日の目標や内容の確認	島型(6人)
2	09:10 (40分)	課題を発見し、整理する	・課題発見ブレインストーミング(10分) ・課題を2チームで相互に共有(10分) ・親和図法で課題を整理(10分) ・重要度・緊急度マトリクスで課題を位置づけ(10分)	島型(6人)
休憩(10分)				
3	10:00 (35分)	解決策を出し、整理する	・解決策ブレインストーミング(20分) ・親和図法で解決策を整理(15分)	島型(6人)
休憩(10分)				
4	10:45 (15分)	発表の準備をする	・模造紙に課題と解決策を整理(15分)	島型(6人)
5	11:00 (30分)	全員で共有する	・各班の発表(30分)	島型(6人)
6	11:30 (10分)	まとめ	・事務連絡 ・アンケート記入	島型(6人)

<準備物>

模造紙(3枚×6グループ+予備6枚)、水性マーカー(6グループ分)、名札(50名分)、アンケート用紙、第1回「改善すべきところ」、飲み物 など

3回目「案内チラシ」

協働型の地域社会づくりプロジェクト

第3回

「どうなる？ どうする？ 朝倉台！」



朝倉台に関わるさまざまな団体が、地域の課題を認識・共有し、魅力的なまちをつくる方策を話し合う場として、地域プラットフォームの第3回目を開催します。

第3回のテーマは、「朝倉台の将来像に向かって必要な方策を考える」です。

第2回で示された3つの将来像 ①住民同士の交流が盛んなまち ②マナー・モラルの良いまち ③生活の利便性が良いまち に向かって、何が課題なのか、何をしなければならないのかをみんなで考えたいと思います。みんなで知恵を出し合い、朝倉台を住みよい町にしましょう！

日時：12月12日(日)9:00~12:00

場所：畿央大学附属幼稚園 記念館（桜井市朝倉台西5-1093-321）

※駐車スペースが限られていますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。（近鉄大和朝倉駅下車徒歩約10分）

主催／朝倉台安心・安全ネットワーク

共催／「協働型の地域社会づくり」プロジェクト 桜井市・奈良県ほか合同チーム
（事務局：奈良県協働推進課）

※「協働型の地域社会づくり」プロジェクトは、地域のきずなを強め、地域コミュニティが本来持っている役割を再生・強化し、地域の自主的・主体的な課題解決の取組みが行える体制を整備するため、奈良県と県内20市町村が参加して行っているプロジェクトです。

○今後の予定

第4回を次のようなテーマで実施する予定です。

・第4回(平成23年2月6日)方策を実行に移すための具体的な計画づくりを行う

3回目「結果報告書」

第3回 朝倉台地域プラットフォーム 結果レポート

発行
朝倉台安心・安全ネットワーク
朝倉台の地域社会づくりプロジェクト

朝倉台地域プラットフォームは、朝倉台のさまざまな団体が、朝倉台の課題を認識・共有し、魅力的な町にするための方策を話し合う場です。

朝倉台では、高齢化率が27.9%となり、桜井市や奈良県の平均を超える状況にあります。これまで、「朝倉台安心・安全ネットワーク」を中心として、地域のさまざまな課題を解決してきましたが、このままの状況が進めば、地域活動の継続が難しくなるのではないかと不安から、今回の取組みはスタートしました。



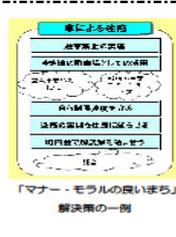
将来像の実現に向けて
第三回目は、十二月十二日に、「朝倉台の将来像の実現に向けて」をテーマとして話し合いました。場所は、第一回目から使わせていただいている畿央大学付属幼稚園。いつもありがとうございます！さて、第二回目の参加者は、三十七名、第三回目と同じでした。参加者の団体は、朝倉台自治会をはじめ、朝倉台自主防災会、ボランティア朝倉台、朝倉台民生児童委員協議会、朝倉台盛春クラブ、お話の会、お花の会、書道サークル、詩吟サークル、ふれあいサロン、朝倉台リサイクルバザー、奈良県交通安全協会桜井支部朝倉台校区、桜井市

参加者の真剣度に圧倒
今回は、第二回で出された朝倉台の三つの将来像 ①住民同士の交流が盛んなまち ②マナー・モラルの良いまち ③生活の利便性が良いまち の実現に向けた解決策をそれぞれに分かれて話し合いました。理想の朝倉台を作るためにどうするか、参加者の皆さんはどれも真剣に検討されていました。終了後のアンケートでは、九十六%の方が、「解決策を考えるのに

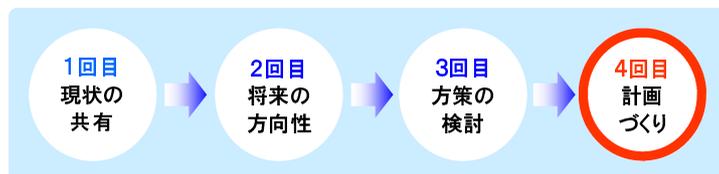
地域安全推進委員会朝倉支部、桜井市役所など、前回同様、朝倉台に関わるさまざまな団体の方が参加してくださいました。

参加者の声は…
今回の参加者の声をいくつかご紹介したいと思います。「熱心に参加される方が多い。」「朝倉台地域の課題の共有から解決策へ具体的な方策を聞いた。解決の第一歩。」「当たり前の課題だが、皆で声を出し書くことにより、さらに明確になりました。」「ここで話し合われたことを住民にも知らせしてほしい。」「もっと多くの住民参加があれば、多様な意見が聞けるのではないかと思います。」

「次回の案内」
第四回朝倉台地域プラットフォーム
日時 二月六日(日)
九時~十時
場所 畿央大学附属幼稚園記念館
朝倉台の将来像を実現するための実行計画を作成しましょう！



第4回目（計画づくり）



【概要】

第3回で出された解決策について、実行計画を作成しました。結果、5つの実行計画が決定されました。

①救急体制、②車による迷惑駐車、③ペットの飼い方、④高齢化の問題、⑤住民同士の交流。

議論を促すための手法として、「ブレインストーミング」を用いました。

4回目「プログラムシート」

「どうなる？どうする？朝倉台」第4回 プログラムシート

<狙い／成果>

朝倉台に関わる様々な団体の関係者が、朝倉台の将来像に向かって自分の団体または自分自身で何ができるかを考え、その具体的な計画を作成し、みんなで共有したい。

<対象者／人数>

朝倉台に関係する団体の代表者など／約50人

<時間／場所>

2月6日（日）9時～12時 畿央大学附属幼稚園

	時間	狙い／目標	活動内容／問い	場の設定
1	09:00 (10分)	導入／本日の目標と内容を理解してもらう	・自治会長あいさつ ・本日の目標や内容の確認	島型
2	09:10 (40分)	解決策を再検討・具体化する	・趣旨説明・意見交換(10分)※前回の議論の説明 ・解決策の再検討(10分)※有効な解決策かどうか ・解決策の具体化(10分) ・解決策の絞込み(10分)※1つに絞り込む	島型
休憩 (10分)				
3	10:00 (40分)	実行計画を作る	・実行項目を出す(20分) ※ブレインストーミング ・スケジュール表に貼り付け(10分) ・足りないところを補足(10分)	島型
休憩 (10分)				
4	10:50 (30分)	実行計画の発表	・実行計画の発表(30分)	島型
5	11:20 (20分)	全員で共有する	・参加者の感想(20分) ※時間不足のときは短縮	島型
6	11:40 (10分)	まとめ	・朝倉台安心・安全ネットワークより今後の方針(各解決策についてプロジェクトチーム立ち上げ＋参画要請) ・県より挨拶 ・アンケート記入	島型

<準備物>

計画表フォーマット(2枚×50名分)、水性マーカー(6グループ分)、名札(50名分)、付箋(中)(50名分)、アンケート用紙、実行計画表、飲み物 など

4回目「案内チラシ」

協働型の地域社会づくりプロジェクト

第4回

「どうなる？ どうする？ 朝倉台！」



朝倉台に関わるさまざまな団体が、地域の課題を認識・共有し、魅力的なまちをつくる方策を話し合う場として、地域プラットフォームの第4回目を開催します。

第4回のテーマは、「朝倉台の将来像を実現するための実行計画を作成しよう」です。第3回で示された3つの将来像を実現するための解決策をもとに、具体的な実行計画を作成していきたいと思ひます。

みなさんのご参加をお待ちしております！

日時：2月6日(日)9:00~12:00

場所：畿央大学附属幼稚園 記念館（桜井市朝倉台西5-1093-321）

※駐車スペースが限られていますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。
(近鉄大和朝倉駅下車徒歩約10分)

主催／朝倉台安心・安全ネットワーク

共催／「協働型の地域社会づくり」プロジェクト 桜井市・奈良県ほか合同チーム(事務局:奈良県協働推進課)

※「協働型の地域社会づくり」プロジェクトは、地域のきずなを強め、地域コミュニティが本来持っている役割を再生・強化し、地域の自主的・主体的な課題解決の取組みが行える体制を整備するため、奈良県と県内20市町村が参加して行っているプロジェクトです。

お願い

前回は、朝倉台の将来像を実現するための解決策を話し合いました。第4回では、そのうち最も重要度が高く、かつ、最も緊急度が高い6つの課題の解決策について、それぞれ班に分かれて、実行計画を作成したいと思います。「自分の団体が関われそうだ」または「自分自身が関心ある」という課題を別紙A~Fまでの中からひとつ選んでいただき、実行計画を作成していただきたいと思ひます。あらかじめどの課題を検討したいか考えていただければ幸いです。

4回目「結果報告書」

第4回
(最終回)

朝倉台地域プラットフォーム 結果レポート

発行
朝倉台安心・安全ネットワーク
協働型の地域社会づくりプロジェクト

朝倉台地域プラットフォームは、朝倉台のさまざまな団体が、朝倉台の課題を認識・共有し、魅力的な町にするための方策を話し合う場です。

朝倉台では、高齢化率が27.9%となり、桜井市や奈良県の平均を超える状況にあります。これまで、「朝倉台安心・安全ネットワーク」を中心として、地域のさまざまな課題を解決してきましたが、このままの状況が進めば、地域活動の継続が難しくなるのではないか…そんな不安から、今回の取組みはスタートしました。

5つの実行計画

- 救急体制
- 車による迷惑問題
- ペットの飼い方
- 高齢化の問題
- 住民同士の交流

実行計画を作成しよう！
第四回は、二月六日に開催されました。今回は、第三回で出された解決策について、実行計画を作成しました。
場所は、第一回から使わせていただいている畿央大学附属幼稚園です。いつもありがとうございます！
さて、当日は、寒中にもかかわらず、三十五名の方が参加してくださいました。
参加者の所属団体は、朝倉台自治会をはじめ、朝倉台自主防災会、ボランティア朝倉台、朝倉台区民生児童委員協議会、朝倉台盛春クラブ、お花の会、書道サークル、詩吟サークル、朝倉台サイクルパザリ、奈良県交通安全協会桜井支部朝倉台校区、桜井市地域安全推進委員会朝倉支部、桜井市役所など、前回同様朝倉台に関わるさまざまな団体の方が参加してくださいました。

みんなで作り上げる
今回は、第三回で出された六つの解決策のうち、五つの解決策について実行計画を作成しました。
今回は、参加者それぞれが自分に関心のある解決策に取り組みたいという様子が見られました。
「実行計画なんて作成したことがない」という人が大半でしたが、みんなで話し合う中で、だんだんと形になっていきました。
最終的には、五つの実行計画が完成し、発表を行いました。
いずれも現在の朝倉台の実態をふまえた実行計画であり、「住民同士の交流」に取り組んだ班では、「



参加者の声は：
今回は、地域プラットフォーム全体を通じて感想をいただきました。「問題点を出し詰までたどりつき、すこいと思ひました。」
「住みよい町づくりに積極的に参加する心をもたせていただいた。」
「再度住民向けのプラットフォームができればいいと思う。」
「自分の中でも意識が向上し、問題解決のため微力を注ぐことにしたい。」
「なかなかお会いすることのないサークルの方々と話し合うことができ、良かったです。これを二緑に協力していきたいです。」
「地域の問題点をあらためて見直す機会ができた。住民目線や住民が考える点が良い。」

朝倉台安心安全ネットワークでは、今回作成された五つの実行計画についてプロジェクトチームを立ち上げる予定です。その際は、ぜひ参加をいただきたい。みんなで朝倉台を住み良い町にしましょう！

地域プラットフォームの留意点

【地域プラットフォーム全般の留意点】

- 地域プラットフォームには、地域の担い手となる複数の団体の参画が必要です。ただし、必ずしも地域内の団体である必要はなく、外部の団体であっても、問題意識を共有し、活動に参画できるのであれば、地域の担い手になれます（地域外のNPO等）。
- 自治会は、住民からの信頼度が厚く、行政も自治会を窓口にしていることが多いことから、地域プラットフォームの参画団体として、欠かせない存在です。
- 自治会は、住民の意見のとりまとめや情報の周知を行うことに長けており、NPOは実際の活動に長けているというように、それぞれの団体に特長があります。
- これまでに地域で一緒に課題の解決をした経験がない場合は、まずは特定の課題の解決を目指すことから始める方が良いといえます。特定の課題の解決に成功すれば、その成功体験が、地域の様々な課題の解決についての、足がかりとなります。
- 防災や防犯は、多くの地域住民が関心を持っている課題であり、地域プラットフォームとして初めて取り組むのに適した課題といえます。
- 「地域プラットフォーム」の用語をそのまま使う必要はありません。「〇〇町〇〇丁目の井戸端会議」や「みんなで〇〇町〇〇丁目の〇〇について考える会」などの分かりやすい名前をつけてください。
- 地域の方々は、地域の課題解決のための「思い」と「考え」を持っています。地域プラットフォームづくりをすることで、自然とたくさんのアイデアが生まれてきます。
- 地域の課題の解決を効果的に行っていくためには、市町村との関わりは避けられないことから、市町村職員の参画は不可欠です。朝倉台地域プラットフォームでは、桜井市の市民課と企画課の職員が参加しました。

【地域プラットフォーム運営上の留意点】

- 地域プラットフォームは、地域の各団体が対等の立場で参画するものです。行政が地域プラットフォームの立ち上げや運営をサポートする場合には、地域住民が主役であることを認識し、話し合いの内容はもちろん、運営についても、地域住民が主導できるように配慮することが必要です。
- 実行計画の作成をする場合は、それぞれの団体が、それぞれがなすべきことを考えてもらう必要があります。そうしないと、他人任せの提案になってしまう可能性があります。
- 結果を焦ることなく、じっくり時間をかけて、参加者全員が課題を認識・共有するのを待つことが必要であり、急ぐと結果的に失敗する可能性があります。

- 話し合いを開催する曜日や時間については、地域住民の年齢や職業などに合わせて、参加しやすい曜日・時間に設定する必要があります。
※朝倉台地域プラットフォームでは、大阪に通うサラリーマンが多いこと、夜は主婦が出席しにくいことなどを考慮して、日曜日の午前中(9時～12時)に実施していました。
- 1回あたりの時間は、最低でも3時間は必要といえます。内容にもよりますが、2時間程度だと、十分な話し合いができないことがあります。
- 地域プラットフォームの内容や進め方について、中心となるメンバーが事前に集まり打ち合わせを行う必要があります。
※朝倉台地域プラットフォームでは、毎回、事前に、朝倉台安心・安全ネットワークの中心メンバーと支援チームの中心メンバーが、プログラムの打ち合わせを行いました。
- 地域課題の解決には、地域全体の協力が必要になります。参加している住民以外の理解や協力を得るために、実施した内容を他の住民に伝えるための結果レポートを発行するのの一つの方法です。
※朝倉台地域プラットフォームでは、「朝倉台地域プラットフォーム結果レポート」を毎回発行しました。10ページ以降に掲載しています。
- 毎回、実施後すぐに、中心メンバーによる反省会を行うと良いでしょう。実施後すぐに行わないと記憶が薄れてしまい、反省会の効果が小さくなってしまう可能性があります。

